

この説明書は、本剤とともに保管し、使用の際には、よくお読みください。

お子さま用熱さまし

キオフィーバ こども解熱坐薬

第2類医薬品

お子さまの平熱は大人より高く、多少熱を出しても元気な場合もあります。しかし、高熱（一般に38度以上）の場合には、体力の消耗や熱性けいれんを招くおそれもあり、熱を下げるのが大切です。キオフィーバは、直接腸から成分を吸収しますので、胃を痛めず、早く作用して、効果的に熱を下げます。

使用上の注意

本剤は小児用ですが、解熱薬として定められた一般的な注意事項を記載しています。

してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用、事故が起こりやすくなります。）

- 1 次の人は使用しないでください。
(1) 本剤によるアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を使用してぜんそくを起こしたことがある人。
- 2 本剤を使用している間は、次のいずれの医薬品も使用しないでください。
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬
- 3 使用時は飲酒しないでください。
- 4 長期連用しないでください。

相談すること

- 1 次の人は使用前に医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
(1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人。 (5) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。 (6) 次の診断を受けた人。
(3) 本人又は家族がアレルギー体質の人。 心臓病、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍
(4) 高齢者及び虚弱者。
- 2 次の場合は、直ちに使用を中止し、この説明書を持って医師、歯科医師又は薬剤師に相談してください。
(1) 使用後、次の症状があらわれた場合。

関係部位	症状	関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ	精神神経系	めまい
消化器	悪心・嘔吐、食欲不振	その他	下痢、軟便、便秘

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症状
ショック（アナフィラキシー）	使用後すぐにじんましん、浮腫、胸苦しさ等とともに、顔色が青白くなり、手足が冷たくなり、冷や汗、息苦しさ等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（ステevens-ジョンソン症候群） 中毒性表皮壊死症（ライエル症候群）	高熱を伴って、発疹・発赤、火傷様の水ぶくれ等の激しい症状が全身の皮ふ、口や目の粘膜にあらわれる。
肝機能障害	全身のだるさ、黄疸、皮ふや白目が黄色くなる 筈があらわれる。
ぜんそく	

(2) 1回使用しても再度発熱した場合。

（裏面も必ずお読みください。）

成分・分量

1個 (950mg) 中 アセトアミノフェン..... 100mg 添加物としてハードファットを含む

効能・効果



夜間などの
急な発熱に

小児の発熱時の一時的な解熱



口から
のみにくい時に
吐きやすい、食欲が
ない、せきがひどい等)

用法・用量

次の量を肛門内に挿入してください。

年令	1才未満	1~2才	3~5才	6~12才
1回量	使用しないこと	1/2~1個	1個	1~2個
使用回数			1日1回	

1/2個を使用する場合



斜めの線にそって、
カッターナイフや
ハサミで切り、1個
を使用する場合と同
様の方法で使用して
ください。

注意

- 1 保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- 2 用法・用量を厳守してください。
- 3 1才未満の乳児には使用しないでください。
- 4 使用は1日1回とし、2日続けて使用しないでください。
- 5 肛門にのみ使用し、内服しないでください。

坐薬の使い方

薬がすぐ出ないように、なるべく排便をすませてから使いましょう。



先のとがった方から
開いてください。



お尻の奥まで差し込んでください。仰向けが挿入しやすい場合が多いです。挿入しにくい場合は、先だけをオリーブ油や水で濡らし、すべりやすくしてください。坐薬が外へ出てしまわないように、必ず数十秒間は指でそのまま押さえておいてください。

発熱時の注意

汗ばんだ衣類は早めにとりかえましょう。
発熱により汗をかいて、水分が失われます。水分をきっちり補いましょう。
熱の上がり際に寒くてゾクゾクしている時は、身体をあたためてあげましょう。
氷枕などで頭を冷やすと、楽になる時があります。ただし、冷やすことで熱が下がるわけではありません。
嫌がるようであれば、無理に冷やす必要はありません。

保管及び取扱い上の注意

- 1 直射日光の当たらない湿気の少ない30℃以下の涼しい所(冷蔵庫等)に、右図のように坐薬の先端を下に向け、立てて保管してください。
- 2 小児の手の届かない所に保管してください。
- 3 誤用をさけ、品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。

外箱の正面

解熱坐薬



お問い合わせは榎屋奇応丸株式会社 発売元 まで
お客様相談室 電話：072-871-2990
〒574-0014 大阪府大東市寺川3-3-63
受付：月～金曜日 祝日を除く 9:00～17:30



発売元
製造販売元

榎屋奇応丸株式会社
〒530-0043 大阪市北区天満1-4-11
榎屋製薬株式会社 大阪工場
〒574-0014 大阪府大東市寺川3-3-63